

(仮称)三軒屋公園等複合施設に係る市民説明会結果概要

- 1 日 時 令和6年7月20日(土) 午後2時～午後3時40分
- 2 場 所 東北コミュニティセンター 3階ホール
- 3 出席者 新座市長、総合政策部長、まちづくり未来部長、(仮称)三軒屋公園等複合施設整備推進室長、同室担当(4名) 計8名
- 4 参加者 77名
- 5 概 要

- ・ 配布資料に沿って、(仮称)三軒屋公園等複合施設を整備することに至った経緯や、本年3月から4月にかけて実施したアンケート調査の結果について説明するとともに、今後、意見交換会を実施した上で、基本計画を見直すこととした旨を説明したもの。

配布資料については別添参照。以下はその後の意見及び質疑応答。

(○：参加者からの意見、→：市の回答)

- 新たな複合施設の機能に、ほっとぷらぎの5階にあった男女共同参画推進プラザの機能は含まれていない。この施設にこだわっているわけではないが、余裕が生まれたならば、是非入れてほしい。
- 今まで新座市は女性問題について頑張ってきていた。しかしながら、ほっとぷらぎが急になくなり、条例も廃止された。小さくてもいいから男女共同参画推進プラザを設置してもらいたい。
 - ほっとぷらぎ5階の男女共同参画推進プラザにおいては、利用率もあまり高くなかった。現在は市役所本庁舎の担当課において対応しており、誰でも相談できるようになったため、機能的には強化したと考えている。男女共同参画については、市の職員においても、管理職の38%は女性であり、市議会議員においては40%以上が女性となっている。他の審議会や委員会の委員等についても50%を目指している。
- ほっとぷらぎがなくなり、図書室がなくなった。現在は本の受渡しのみで、図書カードも使えない。新たな施設ができるのはよいが、まだ5～6年かかると、図書の無い期間が約10年になってしまうため、暫定的でもどこかに用意してもらいたい。

- これからの社会は、若い人を育てることも重要だが、同時に高齢化社会が進んでいくため、高齢者向けの施設がもう少し充実してもいいのではないか。
- 前回の説明会において近隣対策をお願いしたところだが、騒音対策はどのように考えているか。また、建物の上の公園について、夜間の利用制限などはどうなるのか。
 - 今後の意見交換会において、防犯上の観点も含めて意見を頂き、基本計画を見直す中で検証していく。

屋上公園の閉鎖については、防犯・防災の面から意見を伺った上で、治安の悪化にならないような工夫をしていきたい。

また、現在の三軒屋公園における対策として、今後、近いうちに4か所ある出入口に門扉を設置し、試験的に夜間閉鎖を行う予定である。
- アンケート結果の分析がずさんである。白紙撤回や整備不要との回答を、ウェブと紙で合わせると全体で58%にもなる。なぜこのような分析にしたのか。

そもそも、ほっとぶらさが廃止される際に、十分な説明もなく、勝手に廃止されたことが問題である。改めて白紙撤回を求めたい。

 - アンケート結果がウェブと紙では大きく異なる内容だったため、分けて分析したものである。紙の結果で、そもそも知らなかったと回答した方の大半が反対だったため、まずは事業の説明を十分にしていくこととした。一方で、早期整備を望む声も多くある。100%の方に理解していただくことは難しいが、本複合施設は必要であるという点を御理解いただけるよう様々な機会を捉え説明していく。
- 三軒屋公園はたくさんの子どもが遊びに来ていて、重要な場所だと考えている。また、図書室について、何度も要望書を提出してお願いしてきた中で、ゼロベースにする、という意見があるのはとてもショックだった。また、民間方式とのことだが、若者が心配せずに働けるような職場を行政として保証してもらいたい。これまでの検討経過も大切にしながら取り組んでほしい。
- 今回の案で、工事中もコミセンを利用できるとのことで安心した。以前に意見としてたくさん出ていた子育て支援センターは大事だと思う。子どもも老人も憩える場所にしてもらいたい。
- 東北コミセンのホールはエアコンの音が耳障りである。また、ロッカーが

なく、荷物を廊下の棚に置いており、靴箱も少なく、不便である。トイレも半数が和式である。こうしたことを改善し、使い勝手が良くて、いい施設ができた、という風にしてもらいたい。

また、民間活用でサービスが維持向上できるとのことだが、民間委託ではなく、公設公営でお願いしたい。

- 建物ができてもバリアフリー化をしっかりとやらないと、建てた後に改修することになる。聴覚に障がいのある方の設備などもあるとよい。建てる前の設計段階で、バリアフリーをぜひ取り入れていただきたい。
- 民間に委託して施設を整備するとのことだが、民間企業においては利益を生まなければ意味がないため、非正規雇用が増えたり、利用料が上がったりするのではないかな。運営に当たっても市民の声を聴き、市民と作った公共施設としていくべきである。
- 東北地域は乳幼児向けの施設がないため、ぜひ今回の複合施設に整備してもらいたい。この近隣は共働き世帯が多く、育児休業の際に行く場所がない、という声をよく聞く。今の若い世代の方は、外だけではなく室内で過ごしたいという方々も多いので、屋内で過ごせる場所があればいい。ここで過ごした子どもたちが将来活躍してくれる世代になってくれるといい。
- ほっとぷらざがなくなり、子どもが図書を読む場所がなくなった。そんな中で、この東北コミセンのロビーで図書室を開催できた。10人の子どもが来てくれて、素晴らしいことだった。
今回の話で、白紙撤回の話があったが、この事業を知らない人がまだいることが残念である。施設の老朽化だけでなく、複合施設をどう建てるかなど、公園の問題もある。どんな素晴らしい施設ができるのか、もう一度しっかりと考えたい。市においてどうまとめるか分からないが、いい流れにしていってほしい。
- 0歳の息子がおり、育休中のため、子育て施設を利用することが多いが、都内や和光市、川越市の施設では、子どもの月齢に合わせてスペースが分けられていたり、民間とコラボして面白い施設にしていたりなど、魅力的な施設になっている。今回の施設においても、そうした事例を参考にしながら、魅力的な施設を作ってもらいたい。また、この周辺は大学生も多いため、学

生がダンスやアカペラ等に活用できれば、そこで利用した学生が将来新座市に戻ってくるといった良い循環になると考える。

- 現在、東北コミセンは月曜が休館であり、その際はエレベーターが使用できない。新たな施設は屋上が公園になるが、公園専用のエレベーターは設置するのか。また、地震があった際の対応についてどうするのか。

閉館したイオン新座店の向かい側の施設がテナントを募集しているため、一時的に図書室とすることを提案する。

- 公園へのエレベーターについては、開館時はいつでも使用可能にしたいと考えており、月曜日は出張所が開いているため、夜間を除き公園に行けることとなる。

防災については、現在の東北コミセンも緊急避難場所に指定されているが、新たな複合施設においても、館内の防災機能を検討するとともに、屋外のオープンスペースにおける災害対策も検討していきたい。

- DBO方式について、ほかにも心配している方がいたが、どのようなものかよく分からないため、分かりやすく説明してほしい。また、DBO方式でやることは決定事項なのか。

- DBOというのは、設計のデザインのD、建設のビルドのB、運営のオペレーションのOの略で、設計から施工、管理運営までを一体的に契約するものであり、設計段階から管理運営を見据えて設計することによって、効率化が図られるものである。また、民間企業と利用者が連携してイベントを開催するなど、行政にできないような発想力や行動力を発揮することにより、サービスの向上が図られることを期待している。

今後、基本計画を見直すこととしているが、基本的な機能が大きく変わらない限り、DBO方式で進めていくこととしている。

以上